



管内で牛のヨーネ病が発生！

【概要】

農場：県北東部の乳用牛農場

症状：特に異状を認めず

検査：牛定期検査スクリーニング検査陽性

糞便を用いたPCR検査で2頭陽性(患畜決定)

患畜決定日：令和3年9月29日

当該牛：北海道からの導入牛

ヨーネ病は牛、めん羊、山羊等の反すう動物に慢性の頑固な下痢、乳量の低下、削瘦等の症状を引き起こす病気です。

ワクチンや治療薬はなく、発生した場合は法律に基づき殺処分となります。



以下の内容に取り組みましょう！

☆農場への牛の導入について、導入元農場がヨーネ病陰性農場であることを必ず確認する。

- ・子牛は可能な限り早期に成牛群から離して飼養する。
- ・牛舎内、特に牛床、飼槽及びウォーターカップについては常に清掃し、洗浄及び消毒する。
- ・農場入口への消石灰の散布を定期的実施する。
- ・牛舎入口での専用作業靴への交換、作業靴の消毒を実施する。
- ・日頃から飼養牛の健康状態を観察し、牛の異状を発見次第、すぐに家畜保健衛生所まで連絡する。